



神門通りおもてなし新聞

第十二号

平成30年9月

発行元：神門通りおもてなし協同組合 事務局：〒699-0711 島根県出雲市大社町杵築南1344(出雲商工会内) TEL0853-31-9660/FAX0853-31-9961 発行責任者：田邊達也

第5回 神門縁日開催

去る8月19日、好天にめぐまれ「第五回神門縁日」が開催されました。

今年の夏は例年になく強烈な猛暑に見舞われましたが、この日は比較的に暑さもやわらぎ、本当にたくさんのお客様にお出かけいただきました。

田邊理事長の挨拶に始まり各種ステージイベント、そしてアツパルパークでは「神門縁日屋台村」で大いに賑わいました。

また今回は何ととっても大社地方独特の精霊流しである「じようき行列」の復活がクライマックスです。じようき行列が歩む幻想的な光景は、華やかな感動とどこか懐かしさを感じる素晴らしいものでした。

この度の縁日の成功も、ひとえに多くのお出かけいただいたお客様はもちろん、出店者の皆

様、ボランティアスタッフの皆様、またご協力いただいたすべての皆様のおかげです。

そして神門縁日実行委員会の皆様、商工会青年部の皆様、企画から準備、運営そして深夜まで及んだあとかたづけなど、本当にお疲れ様でした！

また来年も神門通り一体となつて「神門縁日」を盛り上げていきたいと思います！



当日の様子はウラ面をご覧ください！



～「おもてなし」の心を大切にお出迎え～



神門通りの視察 [8月27日] 宮城県議会 経済商工観光委員様

フジドリームエアライン(FDA)により、4月20日から仙台⇒出雲の直行便が就航しました。その宮城県議会の商工観光委員会の皆様

が8月27日、神門通りの視察にお越しになりました。まずは商工会にて田邊理事長の説明質疑応答があり、その後神門通りから勢溜、境内へと視察に歩かれました。



このFDAの就航により、一日一便ではありますが仙台⇒出雲間が約1時間半でつながっています。

そして仙台便が就航後、初めての秋を迎えます。「神在月」に宮城県からも多くの観光客がお越しになることと思われます。

ここで改めて、「おもてなし」の心を大切にお出迎えしたいものです。

総勢17名による草刈りは、あつという間に終わり、全員で記念撮影。しかし、その中に入らず、黙々と特殊な草刈り機で仕上げをし、汗まみれの白いタオルをなびかせ、軽トラで月光仮面のように颯爽と立ち去ったのは、当組合の金山顧問でした。本当に助かりました。以上の中には、何かおおきなポイントがあるように思います。皆さんは何を思っていますか。

土江環境整備委員長より、翌13日午後6時30分作業開始の連絡を役員を中心に流したところ、真っ先に駆けつけ、それも組合員とは違い、作業服を着て草刈機を巧みに操っていたのは、何と出雲市の都市計画担当部の森協部長以下5名の市役所の職員の方でした。彼らは、担当部署として、いやそれ以上に地域の一員として自主的に参加してくれたものと想います。



2018年 納涼会



「神門縁日」の余韻が残る8月21日、恒例の「納涼会」が観光センター出雲で行われました。

チョコレート工場の竹内店長とご縁横丁内けんちゃん漬けの堤さんによる司会のもと約60名の参加者で大いに盛り上がり、最後は、ピンゴの進行役といえはこの人しかいないと言われている野津さんの名進行でフィナーレを飾りました。

今年は例年になく大猛暑で、ぼちぼち夏の疲れが出るころではないでしょうか。

しかし、まだしばらくはこの暑さが続きそうです。皆様、体調管理には十分気を付けていただき、秋の観光シーズンに備えていきましょう！

本当のおもてなし

交通広場 草刈り記



7月7日の西日本を襲った豪雨は、大変大きな被害をもたらしました。山陽との大動脈の伯備線、道路は松江道が不通状態になり、当然ながら神門通りからは観光客の姿は消えました。そんな7月12日、理事長へ1本の電話がありました。それは、「神門通りに観光客が少ないのは、災害の為だけですか。交通広場の緑地帯の草ボーボーは何ですか。あれがお客様迎える観光地の姿ですか。」という仲間からのあたたかい叱咤でした。理事長はすぐに管理者の市役所と相談し、自分たちで実施することの許可を得ました。

特集

第5回

神門縁日

2018.8.19

STAGE EVENT



ご縁つながる!



美味しい!



楽しい!



YUKATA



思い出の日!



夏の風物詩!

JYOUKI

